

本所今昔物語 本所と水(7)

見附駅

今回のテーマは見附駅です。「鉄道」と「本所と水」、一見何の関係もないように思われますが、実は密接な関係がありました。舟運のために刈谷田川から揚水出来ない。これが水不足の原因であったと既号で述べました。

明治31年、見附に鉄道が開通したことで、貨物輸送の手段が鉄道に移り、船運が衰退し、刈谷田川大堰も恒久的なものに変わり、見附町を始め刈谷田川右岸地域でも水利権確保ができたのです。

明治20年に本所村は周辺の村を吸収して新しい村になりましたが、その時の戸数は概ね35戸でした。それが令和5年4月には1、2丁目合わせて1,541世帯にもなっています。この発展には本所に駅が出来たことが大きな要因になっています。最近の転入者にお聞きすると「駅に近い」ということが重要なポイントになっていたことから分ります。

信越線の開通

北越鉄道が、直江津を起点に信越線とつなげて新潟まで線路を引く計画を立て、明治31(1898)年6月16日、長岡と一ノ木戸(現東三条)間を開通させることで見附駅が出来ました。当時の名称は「見附停車場」(こどもの頃「ていしゃば」と言った覚えがあります)といい、開通の日には見附尋常小学校(現見附小学校)生徒一同が遠足を兼ねて見物に訪れたことが市史に記されています。また、見附町各町内では国旗や桜提灯を掲げて祝ったそうで、町民が鉄道の開通を待ち望んでいたかが分かります。

北越鉄道

信越本線が国営で直江津から長野に向けて建設が進む中、直江津以北の建設の見通しが立たない状態にありました。このため新潟県の有志が渋沢栄一に働きかけ、渋沢を發起人として明治28(1895)年に設立した会社です。同社の事業として直江津から新潟までの鉄道が完成し、見附にも駅が出来たわけですが明治39(1906)年に国営化され、この社名は消えてしまいました。

見附小学校創立150周年

見附小学校が今年創立150周年を迎えました。明治6年、現在地で校舎建設が進む中で新町称名寺を仮校舎にして授業を開始したことが起源になっています。娯楽の少ない時代に、鉄道開通の見学は小学生にとっては楽しい思い出だったのではないのでしょうか。



百周年記念。現在の裏門付近に建てられた式典会場入口「祝いの門」、時代を感じます。

また、50年前に発行された『見附小学校創立100周年記念誌』には、鉄道開通時の見附駅舎の写真が掲載されていることも今回『かたくり』に掲載したことと因縁を感じます。

駅建設計画は別の場所

市史によれば、当初の計画では見附駅の建設場所は現在地よりも南東3Kmの登記所(法務局)付近とされていました。現在この場所には、立正佼成会見附道場が建っており、計画通りここに駅ができていれば本所と駅の関係は別のものになっていたでしょう。

何故変更になったかは、①適当な土地がないこと ②汽車の煙が農作物に被害を及ぼすということから反対があったこと。③今町、中之島地域の有力者が鉄道を今町の近くに引きたい。などの諸事情から現在の場所になったそうです。



駅が計画通りにここが出来ていたら見附の都市計画はどのようになっていたでしょうか。

見附駅と周辺再開発事業

数年前から同事業の計画づくりが始まり、JRと市との協議が進んでいます。見附駅は見附市にとって重要なインフラですが、本所にとっても住民の交通の利便が図られたり、新たに転入する住民を増やすなど非常に重要だと思います。



駅前駐車場で進む工事。

鉄道の開通により舟運が廃れ、貨物輸送の主役は鉄道になりました。それが昭和40年代になると個別配送で便利なトラック便に移り、更に現在ではトラックの運転手不足から壁にぶつかっています。

国は其れの解決のために鉄道と船舶での貨物輸送推進をしようとしています。今後どのようになるのでしょうか。

表紙写真『光滝』 2022.12.13撮影

見附市の冬の恒例行事となったイルミネーション、市役所通りが長さで有名です。ただ、豪華さでは駅前のもが一番素晴らしいと思います。駅舎を出て正面を見たときに光が滝のように落ちているようで感動しました。水たまりに光が写って雰囲気上げています。

発行元

新潟県見附市「本所1丁目町内会」
担当 野水英男 Tel.62-1542

かたくり 町内会だより

本所1丁目

2023年(令和5年)

12月号



2P 本所会館修繕工事実施

風鈴ワークショップ開催

ランタンまつり

3P 空き巣事件が発生しました

資源ゴミの出し方に注意

最新カラオケで歌いませんか

町内会主催親善ゴルフ大会結果

4P 本所今昔物語

本所会館修繕工事実施

本所1丁目町内会の活動拠点として重要な施設である本所会館ですが、平成11年完成以来24年が経過し外壁や屋根の一部に修繕が必要な箇所が見つかりましたので、修繕工事を実施致しました。

公募による業者選定

今回、公明性・経済性を考慮して施工事業者の公募を行いました。事前に(株)理研設計に修繕工事の基本設計並びに工事監理を依頼して8月に公募を行った結果。

3事業者が見積書を提出

結果 橋本建設(株)が最も安価で且つ、設計者との質疑において適切であると判断し、契約候補として決定させていただきました。

工事期間 10月31日～11月30日

なお、工事関係費用については市から補助金が交付される予定で、それらの金額が確定するのが12月中旬であるため費用の詳細は次号でお知らせします。

役員会において承認・契約締結

9月6日、役員会が開催され、執行部から本件について資料が提出され、全員一致で工事の施工並びに契約締結について承認されました。

風鈴づくりワークショップ開催

8月22日、本所会館に於いて見附西地区スマイルコミュニティ主催の「風鈴づくりワークショップ」が初開催されました。

事業の目的は9月に開催されるランタン祭りにおいて従来のランタンに加えて風鈴の飾り付けをするというもので、風鈴の材料には見附の地場産業であるニットの原料などを使って繊維産業をもPRする趣向を凝らしています。

事業の企画は、市が契約している「地域力創造株式会社」から提案されたものです。

当日は中学生が6人、役員2人の計8人が参加され、楽しそうに風鈴作りに励んでいました。



風鈴作りに励む中学生 写真・西コミ提供

ランタンまつり

9月23日(土)朝日野宮神社及び本所会館において、見附西地区スマイルコミュニティ主催「ランタンまつり」が開催されました。



会場には何時もと少し違った飾り付けがありましたのでそれについて取材してみました。

市が地域の活性化のため東京に本社がある「地域力創造株式会社」と契約して、各地域コミュニティと新しい取り組みを研究していて、西コミでもランタンまつりについて相談した結果生まれたものです。



昔農家が田植えのときに使った道具、見附では「コロ」「ワク」などと呼んだ記憶があります。にキャンドルで照明を施しました。



中学生が丹精した風鈴、手水場を彩りました。

地域力創造株式会社でこの企画に参加された木村さんにお話を伺いました。「地域の課題解決に向けた提案をさせて頂いていますが、西コミさんにはランタンまつりへの提案をさせて頂いて、中学生と行った風鈴作りやその展示や、昔見附の農村で田植えに使った農具を活用したモニュメントなどを提案したものです。」

今度はどんな企画が生まれるか楽しみです。

空き巣事件が発生しました

今年7月頃、本所1丁目地内で空き巣事件が発生しました。被害の詳細は不明ですが、情報によれば窓ガラスを割って侵入されたそうです。

「自分の所は大丈夫」と思っていないか。本所1丁目でも都市化が進むとともに、残念ながら「犯罪」も都市化してしまいました。「自分は大丈夫」という考えは捨てて用心が必要な時代に入りました。

ではどのような所に注意すべきかについて、見附警察署生活安全課にお話を伺ってきました。

空き巣予防に関して警察署では「3かけ運動」と称して次のことを呼びかけ、チラシ配布などを行っているそうです。

実践しましょう3かけ運動

1. 鍵かけ 家の玄関だけでなく窓などにも確実に鍵をかける。
2. 声かけ 普段から近所同士のコミュニケーションを深める。
3. 心がけ 「自らの安全は自らが守る」という自主防犯意識を高める。

自分で出来ることから行って、普段から犯罪に遭わないように心掛けることが大切だそうです。

資源ゴミの出し方に注意

市が実施している資源ゴミの回収について、ルール違反の出し方をされる方がおられて区長さんが大変困っています。

資源ゴミの出し方については、市が配付した『ごみの分け方、出し方ハンドブック』に記載のとおりです(市HPにも掲載)ので出し方が良く分からない方はもう一度確認して出されるようお願いいたします。



中身が入った缶詰や瓶詰め、担当業者が回収しないために長く放置され環境悪化を招いていました。自分で中身を出して分別すれば人に迷惑を掛けることは無いのですが。

町内にゴミが放置されたりしていると、「犯罪を誘発」します。管理が悪いと防犯面でも隙があると思われるからです。

町内会役員会での話では、殆どの方はルールを守っておられますが、一部の方の誤り行為でこのような問題が発生している。また、「人が居ない夜間に出される」など、「故意ではないか」と思われるゴミもあるそうです。

防犯の「3かけ運動」同様に、町内のコミュニケーションを密にして違反ゴミ撲滅に連携しましょう。

今回問題となった場所は「匠の夢」さん脇の資源ゴミ回収場です。他の場所でも多少の問題が発生することはありますが、町内会に提起されるような問題は発生していません。

最新カラオケで歌いませんか

本所親和会さんにより本所会館に最新式の「通信カラオケ」が設置されました。これについて町内会も通信費などについて補助をさせていただいており、親和会会員に限らず、町内会会員も参加することができるようになりました。



装置の本体。受信・アンプ。

高性能なマイク、同時に大勢で歌えます。なお、他に重低音が魅力のスピーカーが備え付けられています。



今までのCDカラオケとは異なり、流通する国内殆どのアルバムを演奏できます。本所親和会さんによれば、参加費は1回100円で、歌い放題。飲食物持込み自由(本所親和会で販売されることもあり)だそうです。参加資格は親和会会員に限らず、本所1丁目町内会会員及びその関係者に拡大されています。

開催方法は現在「試行中」ですが、概ね月1回夕方開催しています。ご興味のある方は下記までお問い合わせください。

五十嵐勝(本所親和会副会長) 62-5238

町内会主催親善ゴルフ大会結果

町内会主催の「第42回本所1丁目(秋季)親善ゴルフ大会」が去る10月1日(日)三条市下田城カントリークラブで開催され、2区在住の池田正広さんが優勝されました。上位入賞者(3/18)

1. 池田正広さん、2. 近藤昇さん、3. 小林拓磨さん。